信更地区人権住民集会

～　人権を尊重し合う信更地区市民の集い　～

令和元年12月7日（土）　住民自治協議会 教育文化部会 人権教育促進委員会、社会を明るくする運動推進員会、更生保護女性会 及び 長野市立信更公民館 主催による、『信更地区人権住民集会』を開催しました。

第1部では、信更小学校児童2名の発表、信更中学校 生徒2名の発表、人権啓発標語最優秀賞の表彰式、第2部では、大町市立八坂小学校教頭の矢口高士 氏（善亭穴太氏）による、『落語で人権学習？』と題した講演会を行い、当日は65名もの方々にお越しいただきました。また、本年度人権啓発標語選出校である、信更中学校の優秀作品7点を浄書いただき、会場に掲出しました。最優秀賞の標語につきましては、今年度も全戸配布いたしますので、各ご家庭での人権啓発のお役に立てていただけましたら、幸いです。今回も多くの方のご協力を得まして、無事に信更地区人権住民集会を開催することが出来ました。ありがとうございました。

人権教育啓発標語

信更中学校1、2、3年生より提出いただきました標語の中から、人権教育促進委員の投票において選出されました

最優秀作品

救われる　心のこもった　一言で　　一年　小林　一樹

優秀作品

考えよう　きみの一言　刺さるかも　　三年　畠山　虹美
「助けて」の　見て見ぬふりは　しないでね　　三年　海沼　美桜乃
あいさつは　心と心を　つなぐ橋　　三年　大矢　祐翔
誰とでも　みんな仲良く　未来の輪　　二年　松本　琉聖
考えよう　やっていいこと　悪いこと　　一年　島田　優衣
よい言葉　相手の心　花が咲く　　一年　小柳　海斗

落語で人権学習？　　善亭穴太 氏

知らない人　少し知っている人　よく知っている人
長屋のコミュニケーション　　生活のあらゆることを笑いに変える「ふところ」の深さ
知ったかぶり　勘違い　仕事　遊び　暇　粋なおしゃべり
明るさ・機転（スマート）
人と人との関係はシーソー、その潤滑油はコミュニケーション
をとることのできる人間関係・環境をお互い構築すること

信更小学校

「ありがとう」という言葉から

６年　藤井　飛龍

ぼくは、「ありがとう」という言葉は、人をうれしくさせてくれる言葉だと思っています。なぜなら「ありがとう」と言われる人は、言われたその時に、うれしい気持ちになると思うからです。

ぼくも、だれかがなくした物をさがしていた時があります。そのなくしものが見つかった時、「ありがとう」と言ってもらえて、とてもうれしい気持ちになったのを今も覚えています。

だから、他の人も言われたら、きっとうれしいのではないかと思います。みんながみんな、必ずうれしくなるのかはわかりませんが、「ありがとう」は、やはり大切な言葉であることは変わりません。

だから、ぼくは誰かに手伝ってもらった時、何かをもらった時などは、必ず「ありがとう」という言葉を伝えるように心がけています。そうすれば、みんながうれしい気持ちでいっぱいになったりすると思います。

そんな、うれしい気持ちを広げられるようにするために、「ありがとう」という気もちをみんなが大切にしてくれたらいいと思います。

人をうれしく、やさしく、平和な世界にしていくなら、「ありがとう」の輪を広げてはどうかと考えました。ぼくは、これからもみんながうれしく、楽しく生活していけるように「ありがとう」を大切にしていきたいです。この言葉にこもっている、あたたかい気持ちを、いつまでもわすれないようにしたいです。

「人との関わりから学んできたこと」

６年　三澤　桃花

私は、人との関わりの中で「あいさつの大切さ」を学びました。

私は、５年生まで、学校の先生や同じ学年の子、仲がいい子にしかあいさつができませんでした。地域の人に「おはよう。」と言われると、なぜか一人でいる時以外あいさつができなくなっていました。自分ではあいさつをしたいのに言おうとするとはずかしくて言えませんでした。特に、「おかえり。」と家の近くの人に言われると、自分のお母さんお父さんおじいちゃんおばあちゃんでもないのに、「ただいま。」と言いうのが変な気がして言えませんでした。でも、言えないとなぜか申し訳なくて心が苦しかったです。４年生になってからは土日もあまり外へ出なくなっていました。

でも、４年生の終わりごろ登校中みんなであいさつをしたけど、あいさつがかえってこなくて、

「え！なんであいさつかえしてくれないの。こっちはあいさつしたのに。」と、思いました。でも、「じゃあ私もそういう気持ちにさせてるのか。」という気持ちもあって今度は「あいさつしようと決めました。その日の帰り、家の前に「おかえり。」と言われて勇気を出して「ただいま…。」と言ったら、「お！あいさつしてくれたな。うれしいなー。」と、言ってくれたので自然に笑顔になりました。その日から、あいさつはかならずしています。

あいさつなんてしなくていいと思っていたけどやっていると、とても気持ち良いです。あいさつは、自分も相手も笑顔になれるので、これからも続けていきたいと思います。

信更中学校

「いじめをしない、許さない学校作り」

３年　畠山 虹美　森山 弥来

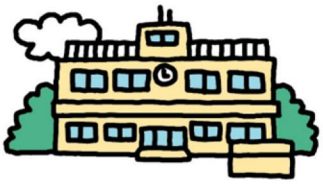
令和元年度　前期
人権教育強調月間人権生徒集会テーマ
「勇気を持っていじめに立ち向かい、
仲間を大切にできる信更中にしよう」
信更中学校生徒会
（令和元年６月）

第1回人権生徒集会
・生徒会長の話
・DVD「ひとみ輝くとき」前半視聴
・意見交換
・アンケート記入
第2回人権生徒集会
・アンケート結果の発表、意見交換
・DVD後半視聴、意見交換
第3回人権生徒集会
・ロールプレイ、意見交換
・信更中学校人権宣言
・自分たちが目指す学校

私たちが目指す学校

１年生
〇いじめをしない、させない、許さない、みんな仲良しな学校
〇全校で協力して、いじめのない明るい雰囲気の学校、勇気を持ち、いじめを解決する学校

２年生
〇いじめを見過ごすことなく、勇気を出して注意できる学校
〇一人一人の個性を認め、人権を尊重し合い、言葉を選んで発言できる学校
〇　皆が笑顔で過ごせる学校



３年生
〇個人を大切にし、いじめをやめる勇気、やめさせる勇気、「いやだ」と言う３つの勇気を持った学校
〇仲間を大切にできる学校

今私たちがすべきこと

１年生
〇自分の普段の生活を見つめ直し、いじめ、差別をしない。いじめが起きたら止められる人間になりたい。

２年生
〇個性を知る。人を傷つけない発言をする。止める、しない、なくす勇気を持つ。
〇友達がいじめを受けた時は、友達と相談したり、先生に伝えたりして、一緒にいじめを解決していきたい。

３年生
〇言葉に気をつけて発言したい。相手がどう思うかを考えて、相手に寄添うことをしていきたい。
〇いじめを見たら注意する。それができなくてもそのままにせず、親や先生に相談する。いじめで苦しんでいる人がいたら、相談にのって少しでもきもちが楽になるようにする。ぜんこうで力を合わせて問題を解決する。

「信更中学校人権宣言」

前文

信更中学校生徒会では平成 21 年 6 月に人権生徒集会を開き、いじめについて学びました。

人権生徒集会や、全校でおこなったいじめについてのアンケート結果から、この中学校にも、いじめで苦しんでいる人がいるという事がわかりました。そして、いじめをなくすためにはたくさんの「勇気」が必要だということもわかりました。

いじめをしてしまっている人は、いじめをやめる勇気。いじめを受けた人や、周りで見ている人は、いじめをしている人に「やめろよ」、という勇気。

しかし、わかっていてもなかなか勇気が出せないということもアンケートからわかりました。

そこでいじめをしない、いじめを許さない、そんな信更中学校にするために、「信更中学校人権宣言」を採択し、全校生徒で、勇気を出して、いじめをなくしていくことを約束します。

第一条

信更中学校生徒は、一人一人の違いを認め合い、いじめや仲間はずし、言葉の暴力を許さず、互いの人権を尊重し合います。

第二条

信更中学校生徒は、いじめを見たら絶対見すごしたり、見て見ぬふりをしたりせず、勇気を出して注意します。

第三条

信更中学校生徒は、いじめを受けた場合には、ゆうきを出して友達や先生、家族などに相談します。

第四条

信更中学校生徒は、人権を無視する行為が起きた場合には、全校の生徒や先生方お力を合わせて問題を解決します。

第五条

信更中学校生徒はいつも周りにいてくれる友だち、先生方、家族などへの感謝の気持ちを忘れず、互いに尊重し合います。

第六条

この宣言に基づいて毎年6月に自分達の生活を振り返り、いじめをしない、させない、許さない信更中学校にしていきます。

平成21年12月18日　長野市立信更中学校生徒会